



営農NEWS



レタスの主要な病害虫の防除対策

レタスの生育中には、ハスモンヨトウ、オオタバコガなどチョウ目害虫やハモグリバエ類などによる食害を生じたり、アブラムシ類などが株に寄生して吸汁害などを発生します。これらの対策として、生育の初中期を対象に、ベリマークSCやジュリボフロアブルなどの育苗期後半の灌注処理、モスピラン粒剤などの定植時の株元散布などが行われており、薬剤によって処理後2週間～1か月くらいの防除効果が期待できます。

しかし、定植前や定植時に処理した薬剤の効果が切れる頃から、害虫の産卵や幼虫ふ化が始まり、発生に気づかず防除が手遅れになってしまいますと、幼虫の食害などによる著しい商品価値の低下や減収を招いてしまいます。

病害虫発生予報9月号（県病害虫防除所）によりますと、9月におけるハスモンヨトウやオオタバコガの発生量はいずれも平年並と予想されていますので、今後とも作物を注意深く観察し、発生初期における薬剤防除を徹底してください。

一方、向こう1カ月の長期予報（9月14日発表）によりますと、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多く、降水量は平年並または多い確率とも40%と予想されています。今年は7月下旬から8月にかけて、天気が曇雨天や日照不足で経過し、今後ともこの傾向が続くと予想されますし、17～18日にかけて台風18号の影響で、県内でも強風や降雨がありましたので、病害の発生を助長する圃場環境と考えられます。このため、すそ枯病や腐敗病、軟腐病、斑点細菌病、菌核病など各種病害の発生には十分な注意が必要となります。

病害虫が発生した場合には、下記を参考に、早めに薬剤防除を行って、発病の抑制に努めてください。

なお、既にご承知のように、レタスでは結球レタスと非結球レタス（リーフレタス、立ちちしゃ、サラダ菜など）で、農薬の登録内容（使用基準）に異なる場合がありますので、十分に注意してください。

表1 レタスまたは非結球レタス害虫の本圃における主な防除薬剤（平成29年9月19日現在）

薬剤名	ハスモンヨトウ	オオタバコガ	ヨトウムシ	ナモグリバエ	アブラムシ類
アフーム乳剤	○●	○●		○●	
トルネードエースDF	○●	○●	○●		
プレオフロアブル	○◎	○◎		○◎	
アクセルフロアブル	○●	○●			
コテツフロアブル	○	○	○	○	
フェニックス顆粒水和剤	○●	○●	○●		
ディアナSC	○●	○●		○●（ハモグリバエ類）	
スピノエース顆粒水和剤		○●	○●		
ダントツ水溶剤				○●	○●
ウララDF					○●
コルト顆粒水和剤					○●

注）表1及び2の○はレタスで、●は非結球レタスで、◎はリーフレタスで農薬登録があります。

表2 レタスまたは非結球レタス病害の主な防除薬剤（平成29年9月19日現在）

薬剤名	すそ枯病	腐敗病	軟腐病	斑点細菌病	灰色かび病	菌核病	べと病
ダコニール1000	○◎						○◎
アフエットフロアブル	○●				○●	○●	
リゾレックス水和剤	○						
トップジンM水和剤	○				○●	○●	
バリダシン液剤5	○●	○●	○●				
スターナ水和剤		○●	○●				
カスミンボルドー		○●		○●			
アグレプト水和剤		○					
カセット水和剤		○●	○●	○●			
キノンドーフロアブル		○●	○●	○●			
ヨネポン水和剤		○●※	○●※	○●※			○●※
スミレックス水和剤					○	○	
ファンタジスタ顆粒水和剤					○●	○●	
ランマンフロアブル							○●
レーバスフロアブル							○●

注）ヨネポン水和剤の●※は、非結球レタス（リーフレタスを除く）とリーフレタスで使用基準が異なります。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040